



東京文化発信
プロジェクト

東欧ルーマニアが生んだ奇才 プルカレーテ
待望の来日公演決定!!

Tokyo
Metropolitan
Theatre
東京芸術劇場

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場

ルル

21世紀を震撼させる悪女
途方もなく残酷な、
パンドラの箱が開かれる

フアン・ラファエル

[平成25年]

2013.2.27[wed] ~ 3.3[sun]

東京芸術劇場 プレイハウス内特設ステージ (池袋駅西口徒歩2分)

一般前売開始 2012年12月8日(土)

作：フランク・ヴェデキント

演出・脚色：シルヴィウ・プルカレーテ

ルーマニア語上演・
日本語イヤホンガイド付

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京都／東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

後援：在日ルーマニア大使館



ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場

ルル

ルーマニア語上演・日本語イヤホンガイド付



私は、『ザ・ビー』でキャサリン・ハンターという英国の怪優を、日本に紹介することができたことを、一人の演劇人として誇りに思っている。そしてここにまた、オフエリア・ポピなるルーマニアの女優を日本に知らしめたい。この妖艶なる怪優を、ひとりでも多くの人に見てもらいたい。エロカワイイと紹介すれば、見に来てくれますか？

そして、この『ルル』演出のプルカレーテは「劇的」という言葉が骨の髄までしみこんでいる、そんな演出家だ。だから彼の作る舞台は、全く飽きることがない。そして吃驚するくらい面白い。今の世界に、これだけ面白い舞台を作れる演出家は、そんなにいないのじゃないだろうか。と紹介すれば、見に来てくれますか？

東京芸術劇場芸術監督 野田秀樹

演出の鬼才シルヴィウ・プルカレーテはルーマニア演劇を代表するだけでなく、現代のヨーロッパ演劇の中でも突出した才能の持ち主だ。特に今回来日する『ルル』は、鮮烈な視覚性、官能的な身体性、冷徹で緻密な描写力など、彼の演出のエキスが凝縮した傑作である。解剖学教室を思わせる特設舞台と客席のスタイルもユニークだ。魅惑的なオーラを放つ天才的な女優オフエリア・ポピの日本初登場も楽しみだ。

演劇評論家 扇田昭彦

『ルル』、その愛憎の物語

ドイツの劇作家フランク・ヴェデキントの傑作『地霊』（1895年）と『パンドラの箱』（1904年）の二部作を1つの作品としてまとめた作品が『ルル』。アルバン・ベルクがオペラ化したことでも知られる本作を、ルーマニアを代表する演出家プルカレーテが脚色・演出。プルカレーテ版『ルル』では、リニューアルしたプレイハウス舞台上に特設ステージと客席を設置。まるで陪審員席のような馬蹄形の客席は、ルルの生涯を至近距離で目撃するような感覚を与えます。

あらすじ

主人公ルルは貧民街でシェーン博士に拾われる。博士はルルを愛人にするも、初老の医事顧問官と結婚させるが、この医事顧問官、さらには再婚相手の写真家（原作では画家）も、次々と死んでいく。そして、ルルはシェーン博士と再々婚。しかし、ルルを慕う同性愛者のゲシュヴィッツ伯爵令嬢、養父シゴルヒ等がルルの周りに集まってくる。嫉妬したシェーン博士はルルにピストルで自殺するよう迫るが、逆にルルはシェーン博士を射殺してしまう。ルルは逮捕されるも脱走。大都市パリ、ロンドンに呑みこまれるような彼女の逃亡生活は、転落の一途をたどり、ついに陰惨な幕切れを迎える。



ミュージズ

奇才が見出した女神、天才女優 オフエリア・ポピ

多くの人生を絡め捕る魔性の女・ルルを演じるのは、人気・実力ともにラドゥ・スタンカ劇場を代表するオフエリア・ポピ。幼女のような小柄で可憐なたたずまいが、一瞬にして悪魔、妖婦、老女に変わる変幻自在な「憑依型女優」。オフエリア演じるルルは、その官能性とエロティシズムで、人間の欲望の騒乱を生々しく野性的に表現している。

演出・脚色 シルヴィウ・プルカレーテ プロフィール

1990年、国立クライオーヴァ劇場の『マクベスの場面によるユビュ王』が翌91年にエディンバラに招かれ、批評家大賞最優秀作品賞を受賞し世界へ躍り出た。ルーマニアからは国家勲章を、授与されているほか、国際シェイクスピアフェスティバルのジュリー賞（2006年）など受賞多数。

シビウ国際演劇祭とラドゥ・スタンカ劇場

シビウ国際演劇祭は、吸血鬼伝説で有名な東欧・ルーマニアの中央トランシルヴァニア州にある地方都市シビウ市で、1994年から毎年開催されている東欧最大の演劇祭で、ヨーロッパでは、エディンバラ・フェスティバル、アヴィニオン・フェスティバルに並ぶ規模を誇る。ラドゥ・スタンカ劇場は、そのフェスティバルの中心を担う劇場で、2004年に国立劇場化された。日本での公演は、02年ウクライナの演出家アンドリー・ゾルダック演出の『白痴』以来2度目。

【平成25年】
2013.2.27 [wed] ~ **3.3** [sun]

チケット料金（全席指定・税込）

S席：6,500円 A席：6,000円 65歳以上：5,500円※ 25歳以下：4,500円※ 高校生割引：1,000円※

開演時間	2/27 wed	28 thu	3/1 fri	2 sat	3 sun
	19:00	14:00	19:00	14:00	13:00

※65歳以上、25歳以下、高校生割引は、A席を割引価格にてご購入頂けます。（枚数限定・前売のみ。要証明書）◎障害をお持ちの方：割引料金にてご観劇頂けます。詳しくは劇場HPまで。◎中学生以下の方はご観劇頂けません。◎本作品には刺激の強いシーンがございます。予めご了承ください。◎客席形状の都合上、開演後の入場は、指定のお席のご案内できない場合がございます。予めご了承ください。

開場は開演の30分前

一般前売開始
2012年
12月8日(土)

東京芸術劇場プレイハウス内特設ステージ



東京芸術劇場ボックスオフィス (窓口・電話) 03-5391-3010 (休館日を除く10時～19時)
チケットぴあ 0570-02-9999 (24時間・音声自動応答) [Pコード: 424-701]
イープラス http://eplus.jp/ (PC・携帯)
ローソンチケット 0570-084-003 (音声自動応答) [Lコード: 32408]

http://www.geigeki.jp/t/ (PC) http://www.geigeki.jp/i/t/ (携帯)
http://pia.jp/t/ (PC・携帯)

0570-000-407 (オペレーター対応) http://l-tike.com (PC・携帯)

お問合せ

東京芸術劇場ボックスオフィス
03-5391-3010
(休館日を除く10時～19時)

関連レクチャー決定！

毎年シビウ国際演劇祭を訪れ、多くの作品を目撃してきた演劇評論家 七字英輔氏と扇田昭彦氏が、ルーマニア演劇の魅力をご紹介します！詳しくは劇場HPまで。
<http://www.geigeki.jp/>

ギズルームのご案内

ご観劇の際には、一時的託児をご利用頂けます。
利用時間：開演1時間前から終演後30分まで
利用料金：～1歳児：2,000円 2～6歳児：1,000円
お申込み・お問合せ：芸術ギズルーム ミュース 03-3981-7003

【東京文化発信プロジェクトとは】

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。